



K中通信

学校だより 2号
令和3年4月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

受け継がれていくもの

校長 佐藤 由利

通勤の途中、歩道沿いを美しく彩るつつじの花が目を楽しませてくれます。新年度がスタートして3週間になろうとしています。4月は教職員の異動もあり、なんとなく日々慌ただしく過ぎていますが、どの学年も新しい仲間、新しい先生との生活のペースが少しずつ整いつつあるようです。

4月9日に新入生におけるオリエンテーションが行われました。私もこの軽井沢中では「1年生」なので、一緒に参加させていただきました。生徒会活動について、部活動について3年生の生徒会本部役員、専門委員長、部長のみなさんが、1年生にわかりやすく、興味をもちやすく、ということを中心に心がけながら説明していたのもさることながら、私が印象に残ったのは、「3年生による校舎案内」です。1年生はクラス別に全部で21グループに分かれ、生徒会本部役員、専門委員長、部長のみなさんがそれぞれ担当グループを連れて校舎内を案内するというものですが、こういう取組は初めてだったので、どんな風になるのか、実はとても興味がありました。いくつか「いいな」と思ったことを書き出してみます。まず、グループが確認され、1年生がリーダーの3年生のもとに集まる場面。ここは、1年生に感心しました。その場でグループを発表されたクラスもあり、86人とはいえ、この状況ですぐにグループになれるのかな?と内心ドキドキしていましたが、多くの1年生が短い時間で自分のグループ・リーダーの3年生は誰か、をきちんと確認していてスムーズに集まることができていました。もちろん3年生も自分の担当する1年生を視野にいれながら動いていたのですが、この場面では1年生がこれから行われることの目的をきちんと理解して行動していることがとても良かったと思います。次に、各グループ時間差で出発したので、動き出すまでに結構時間がかかっていたのですが、3年生は自己紹介→ミニゲームなど、上手にアイスブレイクをしていて、さすが3年生!でした。体育館を出発する時もグループの1年生一人ひとりに気を配りながらサポートしている姿がありました。どちらもそう簡単にできることではないですよね。3年生は、きっと自分たちが1年生だった時の経験が出発点で、その後いろいろな積み重ねがあつての今、なのだろうと思います。こうやって受け継がれていくものを、大切にしていきたいですね。また、この活動中、1年生も3年生もこの時間を楽しみながら過ごしている様子が伝わってきて、とても温かい気持ちになりました。これから、軽井沢中のいろいろな活動を見るのがとても楽しみです。